

「大エルミタージュ美術館展」関連講座 魅惑のオールド・マスター

講師 西洋美術史家 木村 泰司



ウィギリウス・エリクセン
《戴冠式のローブを着た
エカテリーナ2世の肖像》
1760年代
©The State Hermitage Museum,
St Petersburg, 2017-18

“エルミタージュ（隠れ家）”の名を冠するこの世界最大級の美術館の歴史は、ドイツの小国の公女から、ロシア帝国の女帝の地位へと上り詰めたエカチェリーナ2世によって幕が開きました。

しばし宮廷生活から逃れるため、冬宮に隣接した“エルミタージュ”と名付けた別館を建てた女帝は、この“離れ”に大量に購入した美術品を展示しました。こうしてその輝かしい歴史が始まったのです。

今回の展覧会では、エカチェリーナ2世の時代までのオールド・マスターを中心に、この美の殿堂が誇る至宝が85点も日本で公開されます。それを記念してこの講座では、来日するこ

れらの名画がもつ魅力と作品世界をわかりやすく解説します。

(講師記)



ティツィアーノ・ヴェチェッリオ
《羽飾りのある帽子をかぶった
若い女性の肖像》 1538年
©The State Hermitage Museum,
St Petersburg, 2017-18



【講師紹介】きむら・たいじ 1966年生まれ。カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を取得後、ロンドンのサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切にしたい、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。

著書に『名画の言い分』『巨匠たちの迷宮』『印象派という革命』（以上集英社）、『謎解き西洋絵画』（洋泉社）、『美女たちの西洋美術史』（光文社新書）、『名画は嘘をつく』『名画は嘘をつく2』（ビジュアルだいわ文庫）ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

「大エルミタージュ美術館展」
森アーツセンターギャラリー 2017年3/18-6/18

* この講座をご受講の方に抽選で5組10名様に招待券をプレゼントします。

- 日 時 2017年4月6日 1回
木曜 13:00~14:30
- 受講料 会員 3,024円 (入会金は税別5,000円。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です。)
一般 3,672円
- 場所 ルミネ横浜8階 (横浜駅東口)

* 講師紹介は裏面をご覧ください

※受講者が一定数に達しない場合、やむを得ず講座を中止にする場合がございます。
※個人情報、受講連絡や各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。